

2年進路ニュース

大阪府立今宮高等学校
進路指導部
2018/7/24 夏休み号

終業式を迎えて

2年の1学期、あなたはチャンス(可能性)を生かせましたか？

2年1学期は、体育祭・スクーリングの全体レクや班活動と、部活動と自分の個性や可能性を伸ばせるチャンスがたくさんありました。あなたは、**学校行事を真剣に取り組み、達成感や充実感がありましたか？**「もっとこうすればよかった」(他人の様子をみて)「こんなこともできたのか」など、反省することが皆さん一人一人には必ずあったはず。

自分の進路実現も同じです。目標を持ち、計画を立て、出来るだけ早くから真剣に準備・練習を経て本番(受験)での成功が実現します。目先の楽しみより、**自分の希望進路の実現**という大きな達成感をめざして、夏休みも努力を続けよう。

夏休みの勉強について

○●「少年老いや早く学成りがたし」○●

体育祭やスクーリングと忙しいなか、大雨で期末考査が延期、終わったら猛暑と、疲れていると思います。

しかし油断禁物！現在、**関西の国公立大学・私立大学文系は難化**が予想されています(裏面参照)

「受験は号砲のないマラソン」「2年夏から始めると**志望校合格率は92%!**」

「**今からやれば手がとどく**」「**入試問題の80%は1・2年生の範囲**」→2年夏がととても重要です。

皆さんにとって、大学受験に向けての学力向上は、**2年生の夏が最後のチャンスかつ最大のピンチ!**

夏の開放的の気分に、アルバイト、ゲームやUチューブで夜更かしして生活習慣・学習習慣が崩れ、夏休みが終わったら頭の中はスッカラン!となると志望校への合格率は大きく低下します。自宅の机に座っても、ラインなどスマホをいじって、集中力がない人も多いと思います。まず

(1)「**時間の3点固定**」(①勉強を始める時間 ②起こる時間 ③寝る時間)をきっちり決めよう!

早寝・早起きする習慣と、**集中して勉強する時間・場所(スマホは離す!)**を確保しよう!

※ライン・メールは、静かに集中して勉強したいという人の邪魔になっています。不要なラインは自粛し一人ひとりが進路目標を持って、22期生全員で目標に向かって努力する学習集団になろう。

(2) **目標**(志望校・学部や将来の仕事)を明確に持ち、**受験科目**(範囲・難易度)をしっかりと自覚する・

※夏休み宿題(オフ・ジャッパ)を有効に利用しよう→ぜひ各大学の先輩の方と、お話し下さい

志望校・学部を早く決める!→受験科目を調べる→大学見学(行きたい!)→勉強への意欲アップ

科目選択の考え方

～9月に決定する科目選択についての諸注意～

1 最重要ポイント「**努力して自分の能力を出し切った結果、進路を実現する**」

なぜなら、その過程で必ず成長があります。**進路実現は、大人になる高校生が初めて出会う高いハードル**。そして、この「ハードルの越え方」が重要です。なぜなら、将来違うハードルに出会ったとき、今回の越え方を繰り返すこととなります。進路決定に向けて懸命に努力し、その成果として希望進路を実現すること。

受験を成功体験にすることが、皆さんの将来の成功につながります。

2 今回の科目選択は、人生の岐路

少し大げさですが本当です。「入試に不必要な科目はとらない」という考え方は、自分の進路先を狭め、社会人として十分な教養を持つことから逃げています。逃げた選択で不合格の場合、また逃げた選択をして後悔する人生になるものです。無限に逃げることはできません。チャレンジし立ち向かい、勝負すること。

3 科目選択の実際

幅広く学習した者が、一つの分野を徹底的に追求できます。高校段階で入試科目だけを選択した人は、普通科では起こりえないハンデを背負うことになります。「多くの科目で受験」「高いところを目指す」「幅広く受験に対応(受験に必要な科目と関連する科目も必ず選択)」など、具体的な方針になります。

先が不透明な現代社会を、自分が希望する職業をしながら生き抜くためには、自分の知力、学力を高めることです。多くの人が奨学金を活用するので、将来の安定した収入ということも、考えに入れること。

就職・収入ということから目をそらさないこと。「楽しい科目」「遊びの科目」などという言葉が聞かれますが、今の自分と向き合うことから逃げて選択した科目に何の「楽しさ」も「遊び」もありません。

懸命な行為・努力のなかに「楽しみ」と「おもしろみ」「豊かさ」があります。

4 今宮受験格言集 今宮の先輩と先生たちが伝えてきた格言です。

「ほんとうの分岐はもっと先」

2年の科目選択で、後悔しないための言葉。入試科目を絞って勉強する時期は、3年の夏です。広く深い勉強が、将来の生活を支えます。今高生に、高校生が学ぶ常識を欠かしてほしくありません。

「自分で決めない限り、人生は一步も進まない」友人と同じ科目を選択、に要注意！

「行けたら、に行った者なし！」

「行けたら〇〇大学に行く」と言っている者で、その大学に進学した者はいません。「必ず行く」と公言できる強い意志と迫力のある者が希望の進路を実現します。

「受験は迫力が10割」

「仕事は段取りが8割」と言われますが、受験の場合、進路先を決め、そのレベルまで自分の実力を上げる迫力がすべて。現在の学力は、関係ありません。懸命に自分の能力を高めることが大切です

夏休みにむけて 夏休みの平日は学校の自習室(200)で勉強しよう！

【自習室の使い方】

飲食(持ち込みも)禁止・私語厳禁

- ① 自習室は、静かで、心地よい緊張感の中で学習する場所です。友人への質問等は控えよう。
- ② 部活動や文化祭準備などで登校した時は、下校時間まで自習室で勉強しましょう。
- ③ 冷房可です(45分でオフになります)。電源が入らない場合は、2階教務室で学年団の先生か、日直の先生に申し出て下さい。

※注意事項 ・ゴミは持ち帰り、整理整頓のこと。

・使用できない日時があります。(教室に掲示)

・自習室以外で、冷房が入るのは207教室です。飲食等は207教室でとること。

「現役は受験機会が遅いほど有利」

推薦入試をいましめる言葉です。今高生は前期入試で今宮に入学しているため、早く進学先を決めたい！という心がはたらきます。粘って粘って、力をつけて合格できた達成感はほんとうに大きいものです。

「受験は号砲のないマラソン」

あれこれ悩まず、今すぐ進路を見据え、懸命に学習した者が、第一希望に合格しています。

3 2年生の2学期とは→「2年2学期から受験勉強を始めると志望校合格率は85%！」

「入試問題の80%は1・2年生の範囲」→2年の学習が重要!

2年生の1年間とは？

自分の進路決定において重大な岐路となる1年間です

1. 進路目標(志望校・職業)を決めましたか？

※決断する=覚悟する、先送しない=(現実から)逃げない

2. 進路目標の情報(入試科目・)を集めよう

3. 学習習慣(=生活習慣)を定着させよう

1. 進路目標を決めるには・・・バランスのとれた判断を!
 - ・希望する・やりたいこと・あこがれ(夢のレベル)
 - ・現在の実力(学力・体力・能力・才能・生活習慣=早寝早起き)から
 - ・周囲の状況から(経済的状況+保護者の理解、通学[通勤]可能範囲 etc.)
 - ・今から努力して実力が上がる可能性(かなり上がる) *3年からでは間に合わない*保護者・友人・担任などいろいろな人の意見を参考にしよう。

2. 進路先の情報を集めよう ←目標が決まったら、すぐ開始!

(1) 情報を集める(入試科目)

(インターネット・進路指導室・進路情報誌+先輩・在校生など生の声)

(2) オープンキャンパスに参加する(自分の目で確かめよう!)

*2年夏休みの宿題です。今から、見学先の学校を考えておくこと

(3) 試験問題をチェック!(出題範囲・難易度など)——就職、公務員希望の人も

3. 学習習慣を定着させよう。

基礎学力を身につける

学校の授業を有効活用せよ！

★学校の成績はこんなところで大切！

- ・ **校内選考**の選考基準(就職受験先・推薦入試・特別推薦入試等の受験者決定時)
- ・ 推薦入試・**書類選考**の受験資格(例えば「評定平均値4.0以上が受験可」など)
- ・ **奨学金**応募の選考基準(大学・短大・専門学校入学後に貸与)
 - * たとえば基準の一つとして、無利子の奨学金の受給資格は3.5以上、利息付きの場合は平均水準以上の成績が必要など。